

52 明治初期発行の日本医事雑誌について

その保存状況

寺畑喜朔

日本における雑誌の嚆矢は明治元年十月、柳川春三編輯により創刊された「西洋雑誌」である。明治二年十二月に大阪医学校編による「日講紀聞」が発刊されているが、内容は講義録であるので「雑誌」の範疇には容れ難い。従って、日本における医事、医学雑誌の嚆矢は明治六年に創刊された「文園雑誌」、「医事雑誌」である。前者は六月、後者は十一月の発刊であるから前者を以て日本医事雑誌の最初とするのが妥当であろう。つぎに明治十年まで順次発刊された医事雑誌とその保管機関を記載する。

一、文園雑誌、田代基徳編(田代家塾発行)一輯(明治六・六)〜五輯(明治七・?) 蒼龍館文庫・金沢市立図書館、東北大

二、医事雑誌、坪井信良編(初白齋発行)一号(明治六・一)〜四三号(明治八・一一) 蒼龍館文庫、東大法

三、陸軍医事雑誌、陸軍文庫編、一号(明治七・一二)〜二二号(明治二二・?) 東大、東大法

四、医学雑誌、松山棟庵編、一号(明治八・五)〜五五号(明治一三・六) 金大、京府大、東大法、北大、岩大ただし金大、京府大以外は欠号多数あり

五、中外医事新聞、高木兼寛訳、戸塚文海編、坪井信良発行、一号(明治八・六)〜四号(明治八・八) 蒼龍館文庫

六、順天堂医事雑誌、佐藤尚中編、英蘭堂、一卷(明治八・一〇)〜八卷(明治一〇・九) 順大、東大、金大、岩大

七、医院雑誌、東京医学校編、一卷(明治八・一二)〜一卷(明治九・一二) 東大法、東大、金大、順大、北大、岩大

八、内務省衛生局雑誌、内務省衛生局、一号(明治九・四)〜三八号(明治一五・一〇) 北大、日医大、金大、京府大

九、医事雑報、大阪府病院、一号(明治九・五)～四号(明治九・一二) 香川大、東大法

一〇、西医雑報、神戸文哉編、京都療病院、一号(明治九・一〇)～一二号(明治一〇・九) 京府大(三宅家旧蔵の寄贈)

一一、東京医事新誌、太田雄寧編、東京医事新誌局、一号(明治一〇・二)～三四一八号(昭和二三) 創刊号から所蔵する大学は九大、久留米大、山口大、岡大、京大、金大、新大、東北大などである。

一二、医範新説、芝大助・松本操編、東京桜南社、一号(明治一〇・四)～一六号(明治一〇・一二) 東大法、東北大

一三、医事雑誌、石川県金沢病院編・発行、一号(明治一〇・四)～六号(明治一〇・九) 寺畑私蔵

一四、起廃病院医事雑誌、仮名垣魯文、かなよみ新聞社、一号(明治一〇・六)～二号(明治一〇・一〇) 東大

その他、通俗的な雑誌として「養生雑誌」明治九年、「衛生雑誌」明治一〇年などが挙げられる。

ところで、わが国の医学・医事雑誌の所在を示す目録

は「医科大学共同学術雑誌目録」第一版(昭和六年)を医科大学付属図書館が発行して以来、約十年毎に改版を重ねて、今日第七版(平成二年刊、約一九〇〇頁)の膨大な大冊となっている。この目録を抛り所に明治初期の医事雑誌を検索することは不可能で、例えば、四、六、七、八、一一以外の雑誌は既に(一、二版は収載がまだ不備のため、三版以降について調査し、比較した)記載されていない。書誌学的検索を行う者にとっては、極めて遺憾なことである。

医史料保存の重要性を強調しなければならぬ所以の一つはここにある。

(金沢医科大学)